

特集 "由利本荘 FW-house"



由利本荘市の郊外、小高い丘の中腹に建つ小住宅です。ご夫婦＋子供 2 人のための住宅で、療養中の家族を看護するための住宅でもあります。

丘の中腹から街を見下ろす方向に開き、東向き窓のあるダイニングからの視界を確保しました。そして、家族が集うスペースであるダイニングにベッドスペースを設けました。リビングは吹抜けになっており、吹抜けの下には住宅の中心として薪ストーブが配置されます。

吹抜け上には、フリースペース的な書斎スペースがあり、子供たちの読書やデスクワーク等、多目的に使用可能な居場所となりました。さらにそこから屋根の上に出ることも可能で、東側眼下に街並みが眺望できます。

面積的に大きな住宅ではありませんが、ほどよく空間が連続し家族が一体となった暮らしができる住宅になったと思います。



スタッフの日常・非日常 vol.41



ドアについてもうひとつのドア。猫の出入口です。このたび竣工した上記のFW-HOUSEでつくりました。そして下の写真が猫の部屋。洗面器の下です。お施主さまのアイデアによる「仕掛け」がこの住宅には多々あります。ドキドキの試みもありました。しかし、お子さまたちの自由な発想はもつとすごい。完成引渡しの際には、「ロープで昇り降りしたい」とか言ってサルのように家中を飛び回り走り回って喜んでくれました。そして猫より先にこの穴をくぐってくれました。引っかかってましたけど。地鎮祭をしたのがついこの間、振り返るとあつという間の完成でしたが、喜んでもらえてとても嬉しかったです。

今月のマテリアル



UBボード

いわゆる外壁の「サイディング」のひとつです。メーカーはウベボードです。サイディングの上から吹付け塗装等するのに対して仕上一体型のはリーズナブルで模様も多種多様なのですが、シンプルなフラット模様が少ないのが難点です。おそらく、キズや汚れが目立たないように模様付きが多いのでしょうか。そんな中、唯一と言ってよいフラット板がこれです。よく使います。

編集後記

みなさん、こんにちは。晴れば爽やかですが、朝晩はやや寒いらいになってきました。あの日から早くも7カ月。あのような出来事があったせいか、今年はいつもの年にも増して月日の流れが早く感じます。

毎週、秋田と仙台を往復して少し感じるころがあります。秋田県は大震災で物資の滞りはあったものの大きな被害もなく、一見穏やかな日常が続いています。しかし宮城県や岩手県は未曾有の被害を出し、復興へ向けて今までとは違う何か大きな流れが起きつつあると思うのです。それは仕事や日常の中でも肌で感じる事ができます。今後国の予算や多くの資本がそこに大量に注ぎ込まれることになるでしょう。この復興していき物凄いパワーに秋田県はどのように関わって行けるのでしょうか？安閑とし、気付いた時には遅か後方に取り残されているのではないかと。

そうならないように、変わることを恐れず時代の風を察知する力が必要ですね。それでは次回どうぞお楽しみに。



今月の加藤一成
仙台青葉In-Houseで基礎チェック中。
スタジオフロアから拝見しました。
あれ、先月だったかも。

お知らせ



□秋田市で建築家展に参加します。

ASJ 秋田スタジオイベント
第16回未来をのぞく住宅展

イオンモール秋田 3F・イオンホール
秋田県秋田市御所野地蔵田1丁目1-1

10/22(土) 11:00~18:00 入場無料
10/23(日) 10:30~18:00 入場無料

開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。
詳しくはこちらをご覧ください。

INFOMATION

□第15回JIA東北建築学生賞

開催日：11月 8日(火)
会場：せんだいメディアテーク1F
オープンスクエア

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL022-713-3171

JIA秋田から審査員として参加させていただきます。

審査委員長の言葉より

3.11の東日本大震災後、被災地東北の一人として時折無力感を覚えます。

一方で、そのような状況の中でひとり一人の真摯な生き方と行動に感動と可能性を感じます。

遅々として進まない復旧・復興の状況は戦後60年の日本の姿そのものです。

そのなかで、だからこそ、しがらみ横並びからの脱却による「変化」が求められていると考えますがその主人公の一人としてこれからの社会を担う若者へ応募者に期待しています。

「美しい絵」を超えた、大震災の年の東北建築学生賞の審査に相応しい、「変化」が期待出来る作品と個人を称えられたらと願います。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315

FAX. 022-739-8932 018-831-4316

HP. <http://www.issei-design.com/>

BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>

MAIL. info@issei-design.com